

高等学校 令和4年度（1学年用） 教科

地理歴史 科目 地理総合

教科：地理歴史

科目：地理総合

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（高等学校 新地理総合）

教科 地理歴史

の目標：

現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。

【知識及び技能】

地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。

【思考力、判断力、表現力等】

地理や歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

【学びに向かう力、人間性等】

科目 地理総合

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解しているとともに、地図やGISなどを用いて諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技術を身につけている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を位置や分布、場所、人間と自然環境との相互関係、相互依存作用などに着目しつつ概念などを活用し、多角的、多面的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想、考察したことを効果的に説明したり、議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的に考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについて自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>地図でとらえる現代世界</p> <p>【知識及び技能】 地図の読図などを基に、地図や地理情報システム（GIS）の役割や有用性などについて理解している。地図やGISを用いて、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地図やGISについて、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 地図やGISを活用し、社会の課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	<p>緯度・経度 地球儀と世界地図 日本の位置と領域 地図を利用して、現代世界を多面的多角的にとらえる。 ・教材 教科書・地図帳 ・一人1台端末を活用し、適宜地理院地図やGoogleEarthなどを扱う。</p>	<p>【知識及び技能】 ・地図についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 ・地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・さまざまな地図について、縮尺・媒体・用途などに着目し、適切に整理している。 ・さまざまな統計数値を、適切な主題図で表現している。 ・GISを操作し、計測結果や主題図を表示している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・紙の地図やGISに対する関心を高め、閲覧や作業を通して、それらの特徴をとらえようとしている。</p>	○	○	○	3
<p>地図や地理情報システムの役割</p> <p>【知識及び技能】 さまざまな地図があることを理解し、地図利用の可能性を考える。地形図や地理院地図の特徴を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 主題図の表現方法の特徴を理解し、用途に応じてどのように使い分けのかを考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 GISとは何かを理解し、活用の可能性を考える。</p>	<p>地図の種類 地形図のルール 主題図の種類と読み取り地理情報システムと地図 地図を利用して、現代世界を多面的多角的にとらえる。 ・教材 教科書・地図帳 ・一人1台端末を活用し、適宜地理院地図やGoogleEarthなどを扱う。</p>	<p>【知識及び技能】 ・地図についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 ・地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・さまざまな地図について、縮尺・媒体・用途などに着目し、適切に整理している。 ・さまざまな統計数値を、適切な主題図で表現している。 ・GISを操作し、計測結果や主題図を表示している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・紙の地図やGISに対する関心を高め、閲覧や作業を通して、それらの特徴をとらえようとしている。</p>	○	○	○	4
定期考査			○	○		

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	<p>資料から読み取る現代世界</p> <p>【知識及び技能】 交通・通信網の整備や、人・モノ・情報の移動に関して、図表の読み取りを通じて理解する。 交通・通信技術の発達により人やモノ、情報が国境をこえてやり取りをされるようになったことについて、適切に理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地域経済圏や国家群がどのように形成され、現状はどのようになっているのかなどについて、図表の読み取りから判断する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 国境をこえた経済活動や政治的なつながりが、人・モノ・情報などのやり取りに大きく影響を及ぼしていることに着目し、現代世界におけるグローバル化の進展について課題意識をもって考察する。</p>	<p>指指導内容</p> <p>「地球環境問題」 「資源・エネルギー問題」 「人口問題」 「食料問題」 居住・都市問題」 「民族問題」 「持続可能な社会の実現をめざして」</p> <p>・教材 教科書・地図帳 ・一人1台端末を活用し、適宜地理院地図やGoogleEarthなどを扱う。</p>	<p>【知識及び技能】 ・交通・通信技術の発展と国境をこえたさまざまな結び付きについて、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。</p> <p>・交通・通信手段や貿易構造の変化、世界の国家群の特徴などについて、地図や図表の読み取りを通じて理解を深めている。</p> <p>・交通・通信の利用・整備の状況や国境をこえた人・モノ・情報の移動、世界の国家群などについて、地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・交通・情報通信が国境をこえて結び付き、その結び付きがますます強固になっていることについて、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>・貿易や観光などにみられる国境をこえたモノや人の動きについて、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>・グローバル化の加速によって形成された地域経済圏や国家群について、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・交通・通信の発達による社会の変化と、それとともに起こるようになった諸問題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。</p> <p>・グローバル化の進む現代世界において、政治的・経済的な国家間の結び付きが強まって</p>	○	○	○	5
	<p>人々の生活文化と多様な地理的環境</p> <p>【知識及び技能】 世界には多様な文化が存在すること、近年それが均一化する傾向にあることを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地形や気候が地域によってどのように異なるのか、そしてそれらが人々の生活にどのように影響を与えてきたかを考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 技術の発展やグローバル化の進展などにとめない、人々の生活文化や産業及びその立地を捉えし、将来的な変化への関心を高める。</p>	<p>指指導内容</p> <p>「生活文化の多様性と国際理解」 「生活文化と自然環境」 ①地形 「生活文化と自然環境」 ②気候 「生活文化と産業」</p> <p>・教材 教科書・地図帳 ・一人1台端末を活用し、適宜地理院地図やGoogleEarthなどを扱う。</p>	<p>【知識及び技能】 ・世界にみられる多様な文化について、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。</p> <p>・さまざまな産業とそれらの分布について基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。</p> <p>・地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・文化の違いがなぜ生じるかということについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>・世界各地で多様な地形や気候・植生がみられることについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>・さまざまな産業の特徴や産業立地、それらの変化について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>・地域の文化や人々の暮らし、産業の違いを、それぞれの地域の自然環境との関連に着目しながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・文化の多様性と異なる文化の理解や共存に関して関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。</p> <p>・さまざまな自然環境に対応した人々の生活や産業の工夫について関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとする</p>	○	○	○	14
	定期考査			○	○		

